

2025年2月7日

関係各位

野村アセットマネジメント株式会社

ICGNの新たな2つのグローバル諮問委員会の委員に選出

野村アセットマネジメント株式会社(CEO兼代表取締役社長:小池広靖、以下「当社」)は1月20日付で、ICGN(International Corporate Governance Network)が今年新たに立ち上げた2つの国際的な諮問委員会の委員に選出されました。

ICGNとは、1995年に設立された国際的なイニシアティブです。効率的なグローバル市場と持続的な経済の促進に向け、実効的なコーポレートガバナンスの構築と投資家の責任投資の醸成を目的に活動しています。当社はスチュワードシップ活動の強化や海外でのネットワーク構築、情報共有を目的に、2018年に署名しました。国際的なイベントや人材育成プログラム等への参加に加えて、「ICGNグローバルスチュワードシップ原則」の改定作業に携わるなど、ICGNの活動に積極的に関わってきました。

新たに立ち上がった2つの諮問委員会は、企業ガバナンスとスチュワードシップ活動の高度化・推進を目的とした「Global Policy Committee」と、将来のガバナンス分野のリーダー候補である20名で構成される「Future Leaders Committee」です。

当社から、責任投資調査部シニアESGスペシャリストの竹内冬美が「Global Policy Committee」の委員に、同部ESGスペシャリストの丸山絵里子が「Future Leaders Committee」の委員にそれぞれ就任しました。後者は、日本から唯一の委員として選出されました。

今後、諮問委員として、企業ガバナンスやスチュワードシップの最新動向に関する意見交換、政策提言、作業部会や政策立案者との会議への参加などを通じて、ICGNの活動を支援していきます。

当社は、ガバナンス分野における取組みを継続することで、投資先企業の取組みを支援し、長期的な企業価値向上と社会の持続可能性の向上に貢献していきます。

【ご参考(英語のみ)】

[ICGN Global Policy Committee 委員一覧](#)

[ICGN Future Leaders Committee 委員一覧](#)

以上